

参考資料1

非稼働病棟の現状について (令和6年県独自調査結果)

医療圏	医療機関名	病棟名	病床数	非稼働開始時期	予定	再開時の機能	具体的な時期	非稼働理由	解消に向けた取組
尾張西部	総合大雄会病院	中5階	8床	2018年1月	再開予定	急性期	2026年5月 (前回調査時は2025年4月)	透析治療を担う複数名の腎臓内科医師の採用が計画通りに進まず当初計画が遅れていた。	透析治療は腎臓内科医の募集を行うと同時に、泌尿器科医や非常勤腎臓内科医で診療にあたることとし、計画を進めている。一部病棟の改装が必要で、再開予定を2025年4月として、2023年2月開催の尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会において2025プランの修正とともに承認されている。しかし、資材の調達や建設作業員の確保が困難となっている状況で、法人内での関連する病棟工事が大幅に遅れている影響で、再開は2026年5月まで延びる可能性がある。
	稲沢市民病院	3階北病棟	32床	2019年10月	再開予定	急性期	2025年	新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、医療スタッフを集約するため一時的に休床としたが、コロナ禍以前にまで入院患者数が回復していないことから休床を継続しているもの。	入院へつながる紹介患者数の増加に向け、地域医療連携ガイドブックを作成し、近隣のクリニックへ働きかけを行い、また、「登録医制度」を導入し、逆紹介の推進を図ることで患者の確保に努めている。

調査時点／令和6年9月19日調査依頼
令和6年10月7日回答期限